

松本薫杯 第52回金沢少年少女柔道大会

1.目的

子供達に正しい柔道を身につけさせ、試合を通じ心身の鍛錬し健全な競技力の向上、夢に向かって努力し柔道の習得に努め少年の相互の親睦を図り少年達の健全育成を目的とする。

2.主催

金沢市

3.主管

金沢市柔道協会

4.後援

石川県柔道連盟 金沢北ロータリークラブ 北國新聞社

5.日時

令和3年9月26日(日) 開会式 午前8時30分より 開場時間8時

6.会場

石川県立武道館

〒920-0811 金沢市小坂西8-3

TEL (076) 251-5669

7.参加資格

(1)対象は3年生以上とし現在、各加盟団体の小学校に在学している者で、全日本柔道連盟に団体登録をしている「道場」「教室」「クラブ」「スポーツ少年団」単位とする。

なお各チーム1チームとする。

(2)大会出場に当たっては出場選手と選手保護者の出場意思を確認し承諾を得ること

なお出場選手の健康管理に十分な配慮を行い出場チームは指導者が必ず監督として引率すること。

(3)監督、選手とも当該年度全日本柔道連盟に登録済みであること。

(未登録チームは出場できないので、速やかに登録手続きを行うこと。)

(4)監督は公認指導者C以上を所持していること。

8.選手編成

団体戦

チーム編成は分団または道場単位とする。

但し金沢市内のチームで人数が足りない場合は混成チームも認める。

先鋒4年生 次鋒5年生 中堅5年生 副将6年生 大将6年生

1学年下の児童が上学年の位置に出場することは差し支えない。

また、補欠も上学年への出場は差し支えない。

学年順、体重の軽い順に配列すること。

一旦提出されたオーダーの変更は認めない。

9.競技方法

小学生による団体戦とする。

予選リーグ又はリンク戦を行い予選1位が、決勝トーナメントに出場する。

予選終了後、同ブロック内の勝敗・得点が同点の場合は代表1名による決定戦を行う。(GSは行わない)

該当チームの対戦成績に勝敗が決している場合はその勝者を勝ちとする。

一本100点 技あり10点 僅差1点

決勝トーナメント戦において勝数・内容が同等の場合は引分者より審判員がくじ引きで代表者を選び決定戦を行う。(GSは、行わない)

10.試合時間

2分間 ロスタイム有り

11.審判規定

1.国際柔道試合審判規定及び少年大会特別規定、ならび当大会申し合わせ事項により実施する。

2.優勢勝ちの判定基準は「技あり」以上、または「指導差が2」以上とする。

代表戦において2分間で得点差がない場合は僅差判定で勝敗を決める。

代表戦の判定基準は「技あり」以上、または「指導差が1」以上とする。(GSは行わない)

12.表彰

トーナメント1位から3位まで表彰する。

優勝チームは優勝杯を授与する。(持ち回り)

入賞チームより優秀選手(1名)を選考しKAORI賞を授与する。

13.申込方法

別紙申込書に必要事項を記入の上令和3年8月14日(土)までに大会事務局へ申し込む。期日厳守
〒921-8101 石川県金沢市法島町17-18

大会事務局 丸田 克幸 宛 TEL076-245-0039

メールアドレス maru555@beige.plala.or.jp

(問い合わせ先 携帯090-7082-5272)

14.選手変更

申込提出後の選手(補欠も含む)の変更は原則認めない。但し、選手の負傷等でやむを得ない場合は9月25日(土)15時までに大会事務局に選手変更用紙に学年、体重順に配列し変更と明記しe-mailにて受け付けます。当日は受け付けません。

以降は補欠より補充し配列すること。

オーダー変更(補欠との入れ替え)は試合開始前までに本部選手変更係に申出ること。

15.組合せ

大会事務局で一括して行います。

16.参加料

1チーム 3,000円

但し傷害保険については各自加入しておくこと。万一事故発生の場合は応急処置のみ行う。

17.審判監督会議

令和3年9月26日(日)午前8時15分より石川県立武道館剣道場にて行う。

18.ゼッケン

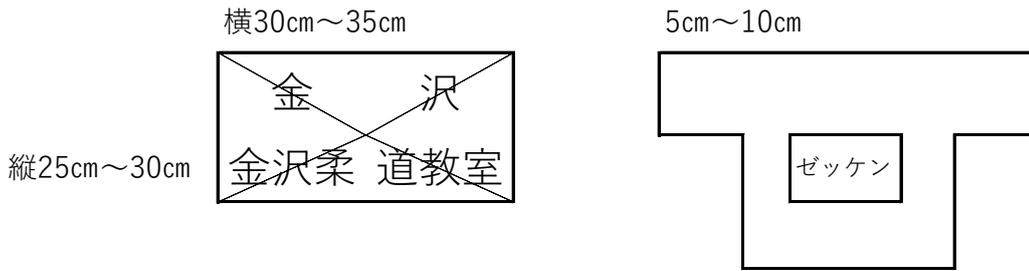
各自でゼッケンを下記要領で必ず縫い付けること。

(1)ゼッケンのサイズは横30cm~35cm、縦25cm~30cmとする。

(2)縫い付ける位置は後ろ襟から5cm~10cm下部とし、必ず対角線にも縫い付けること。

(3)ゼッケンの表記は上側2/3に苗字を、下部に全柔連に登録した所属名(チーム名)を男子は黒文字、女子は赤字で、字体はゴシック又は楷書で記載すること。

なお、同姓がチームにいる場合は、名前の最初の一字を入れる。



19.その他

- (1)申込チームは帯同審判員を1名以上派遣ください。帯同審判員がないチームの参加は認めません。
また、ふさわしい服装でお願いします。
- (2)個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて
 - ①参加申込書に記載された個人情報について大会プログラム、競技会場に掲載されます。
 - ②競技結果（記録）報道機関により、新聞等（写真を含む）で公開されることがあります。
※大会申込書の提出により、上記取り扱いに関するご了承をいただいたものとして、対応致します。
- (3)試合場におけるコーチの振る舞いについて留意してください。
- (4)各チームの帯同審判員のみ昼食を支給します。
- (5)皮膚真菌症（トングランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。
感染が疑わしい若しくは感染が判明した場合は迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。
もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場が出来ない場合もあります。
- (6)脳震盪対応について選手および指導者は下記の事項を順守してください。
 - ①大会1か月以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。
 - ②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
(なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。)
 - ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - ④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
(なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。)
 - ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - ④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- (7)大会出場者の参加同意書（申込時）、参加者の健康チェックシート（大会当日）の提出、
マスク着用、マスク入れの持参の義務付け
- (8)新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため、大会2週間前以降は毎日検温頂き、37度以上ある日が数日続く場合は、その選手の大会の参加はできません。（別紙参加基準参照）
その際は代理の選手を充てて参加することは可能です。
- (9)県内・金沢市内等の感染状況、会場管理者からの使用制限等によっては、大会当日でも大会中止もあり得ます。その際は金沢市柔道協会ホームページでお知らせいたします。
- (10)大会参加にあたっては、別紙「感染拡大防止のために参加者が厳守すべき事項」をご確認ください。